

創立 10 周年記念講演会盛況のうちに無事終了

創立 10 周年記念講演は、7 月 9 日、神奈川県社会福祉会館に於いて、約 200 名の聴衆を集め開催されました。神奈川宿半日ウォークの後にも関わらず、熱心に耳を傾けていただき、盛会のうちに無事終了できました。

当会の藤森会長の御礼のあいさつに続き、ご来賓の方々より、当会 10 年間の着実な歩みに対する評価、これからの更なる発展への期待など、過分なるご祝辞をいただきました。



神奈川東海道ウォークガイドの会
藤森則昭会長



神奈川県歩け歩け協会
川瀬 尚副会長



神奈川県観光協会
斎藤文夫会長

講演1 「東海道と神奈川宿」 横浜市歴史博物館学芸員 齊藤司氏



人が歩き、モノが運ばれる街道、軍事の要でもあり、とりわけ幕末の政治情勢の中での神奈川宿の位置づけなど江戸時代の神奈川を彷彿とさせるお話でした。神奈川湊、獵師町、浦島伝説など海と関わりにも触れられ、あっという間の1時間でした。

講演2 歴史講談 一龍^{はるみ}齊春水師匠

江ノ島弁財天縁の一席「杉山和一 苦心の管針」

鍼灸師を目指した和一少年が、挫折の末、江ノ島の弁天



熱心に聞き入る満員のお客様

様に願掛けをし、管針を授かり、検校にまで上り詰め、お礼に江の島道に盲人用にもわかる道標を寄進したという一席。師匠の芸に一同引き込まれてしまいました。



大役を務めホツとした司会役 ↑